令和4年度　社会資本整備総合交付金事業　特環公共下水道管渠埋設工事（1工区）町単独分

数量計算書

令和 4 年 11 月

管径　路線番号

φ200 箕輪町 沢　沢上南4　県道 伊那箕輪線　町道168号線(開削)

473-1
473-3

L＝　17.00 m

令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)町単独分

数 量 総 括 表

上段:変更
下段:当初

内径 200 ㎜下水道用硬質塩化ビニール管

管路延長	管渠延長	基礎延長	管材料					付帯工					本管土工																				
			塩化ビニール管					舗装切断工	舗装版取り壊し工		As殻処分工		掘削工			砂基礎工			砕石戻工(管上10cm～30cm)			発生土埋戻工(管上10cm～30cm)			埋戻工						残土処分工		
			直管	可撓継手上流	可撓継手下流	MH可撓継手φ200	支管取付工	アスファルト t=15cm迄	アスファルト t=30cm迄	アスファルト t=15cm迄	アスファルト t=30cm迄		機種 0.28B.H	機種 0.45B.H	機種 0.80B.H	投入機種 0.28B.H	投入機種 0.45B.H	投入機種 0.80B.H	投入機種 0.28B.H	投入機種 0.45B.H	投入機種 0.80B.H	投入機種 0.28B.H	投入機種 0.45B.H	投入機種 0.80B.H	発生土 0.28B.H	発生土 0.45B.H	発生土 0.80B.H	砕石 0.28B.H	砕石 0.45B.H	砕石 0.80B.H	0.28BH積込	0.45BH積込	0.8BH積込
m	m	m	本	湖	個	個	箇所	m	m^2	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3
17.00	15.76	15.95	3.89	1				32.6	11.4		0.5		40.6			5.6			0.2			2.8			23.9			3.1			10.9		
17.0	15.7	15.9	3.8	1									40			5.6			0.2			2.8			23			3			10		

建込簡易土留工									
シングルレール								ダブルレール	
H=1.5m	H=2.0m	H=2.5m	H=3.0m	H=3.5m	H=4.0m	H=4.5m	H=5.0m	H=5.5m	H=6.0m
m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
			16.30						
			16.3						

加重平均深										
			2.66							2.66

付帯工																
県道歩道復旧						町道アスファルト舗装				砂利道	舗装切断工	舗装取壊工		As殻処分工		
表層工	路面補修工	上層路盤工	下層路盤工	路盤工	路盤工	表層工	上層路盤工	上層路盤工	下層路盤工							
再生細粒 t=3cm	t=2cm	M25－0 t=15cm	CR40－0 t=25cm	RC40－0 t=35cm	RC40－0 t=35cm	As20F t=4cm	M25－0 t=10cm	M25－0 t=15cm	RC40－0 t=25cm	RC40－0 t=35cm	アスファルト t=15cm迄	AS舗装 t=15cm迄	AS舗装 t=30cm迄	AS舗装 t=15cm迄	AS舗装 t=30cm迄	
m^2	m^2	m^2	m^2	m^3	m^3	m^2	m^2	m^2	m^2	m^2	m	m^2	m^2	m^3	m^3	
						28.8	11.4		11.4			17.4		0.7		

1号組立マンホール材料																									
人孔鉄蓋		調整モルタル工	調整リング				斜壁			直壁ブロック							躯体ブロック							底版
T－14	T－25	20㎜	40㎜	5cm	10cm	15cm	30cm	45cm	60cm	30cm	60cm	90cm	120cm	150cm	180cm	210cm	240cm	60cm	90cm	120cm	150cm	180cm	210cm	240cm	
組	組	箇所	箇所	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
1		1			2				1													1			1

削孔費			ブロック据付工			底部工			副管工(外副管)							
本管部		取付管部	1.2＜H	3.0m＜H		標準	基礎のみ	インバートのみ	平均延長	設置数	取付管用片受け直管	可撓継手支管	カラー管	曲管	砕石基礎工	
VU 150mm	VU 200mm	VU 150mm	≦3.0		平均						150mm	200×150	150mm	150mm	箇所当り	
箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	m	箇所	箇所	箇所	m	箇所	m	本	本	本	m^2	
			1			1										

小口径マンホール				
立管長 300mm		防護蓋 T-14	防護蓋 T-25	その他部材等
(m)	(箇所)	(組)	(組)	小口径マンホール数量表による
1.81	1	1		

汚水桝設置及び取付管工																							
汚水桝設置個数	鉄蓋	塩ビ蓋	取付管平均長さφ150		掘削工	砂基礎工	砂埋戻工	発生土埋戻工	埋戻工			残土処分工	舗装切断工	舗装取壊工	As殻処分工	路面補修工	表層工	上層路盤工	下層路盤工	砂利道	表層工	上層路盤工	取付管土留工
					機種 0.28B.H	投入機種 0.28B.H	投入機種 0.28B.H	投入機種 0.28B.H	RC40－0 0.28B.H	良質土 0.28B.H	発生土 0.28B.H	0.20BH積込	アスファルト t=15cm迄	AS舗装 t=30cm迄	AS舗装 t=15cm迄	RC40－0 t=10cm	As20F t=4cm	M40-0 t=15cm	RC40-0 t=25cm	RC40－0 t=35cm			簡易土留 H=2.00
箇所	個	個	m		m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m	m^2	m^3	m^2	m^2	m^2	m^2	m^3	m^2	m^2	m
1		1	2.25		3.4	(0.6)		0.4	0.4		2.0	0.8											2.4
1		1	2.2		3	(0.6)		0.4	0.4		2	0.8											

付帯工集計(本管部＋取付管部＋影響部)																			
舗装切断工		舗装版取り壊し工		As殻処分工		投棄料等	表層工	不陸整正				表層工	上層路盤工	上層路盤工	下層路盤工	砂利道	埋設表示シート		埋設表示テープ
アスファルト		AS舗装	AS舗装	AS舗装	AS舗装	アスファルト塊処分費	再生細粒					As20F	M25－0	M25－0	RC40－0	RC40－0			
t=15cm迄	t=30cm迄	t=15cm迄	t=30cm迄	t=15cm迄	t=30cm迄		t=3cm	t=5cm				t=4cm	t=10cm	t=15cm	t=25cm	t=35cm	巾40cm	巾15cm	巾3cm
m	m	m^2	m^2	m^3	m^3	t	m^2	m^2				m^2	m^2	m^2	m^2	m^2	m	m	m
35.20		37.50		1.50		3.5	8.6	4.70				28.8	11.40		11.4		15.95		15.95
35		37		1.5		3.5	8	4				28	11		11		15		15

付帯工(掘削部外路盤・アスカーブ・ライン)									
掘削工	残土処分工	路盤工	アスカーブ擁壁撤去工	As殻処分工	投棄料等	ラインエ			VS側溝
		M25-0 t=10cm			アスファルト塊処分費	W=15cm	W=30cm	W=45cm	W300×300 H445
m^3	m^3	m^2	m	m^3	t	m	m	m	箇所

（土工数量調書）　令和4年度　社会資本整備総合交付金事業　特環公共下水道管渠埋設工事（1工区）町単独分

内径　200　㎜下水道用硬質塩化ビニール管

路線番号	人孔番号 上流	人孔番号 下流	路線延長	人孔外径の減長	基礎延長	掘削溝幅	掘削深 上流	掘削深 下流	掘削深 平均	付帯工 As舗装切断工 t<15cm	付帯工 As舗装切断工 t=30cm	付帯工 舗装版取壊し工 アスファルト t=15cm迄	付帯工 舗装版取壊し工 アスファルト t=30cm迄	付帯工 As殻処分工 アスファルト t=15cm迄	付帯工 As殻処分工 アスファルト t=30cm迄	土工 掘削工 機種 0.28B.H	土工 掘削工 機種 0.45B.H	土工 掘削工 機種 0.80B.H	土工 砂基礎工 投入機種 0.28B.H	土工 砂基礎工 投入機種 0.45B.H	土工 砂基礎工 投入機種 0.80B.H	土工 砕石戻工(管上10cm～30cm) 投入機種 0.28B.H	土工 砕石戻工(管上10cm～30cm) 投入機種 0.45B.H	土工 砕石戻工(管上10cm～30cm) 投入機種 0.80B.H	土工 発生土埋戻工(管上10cm～30cm) 投入機種 0.28B.H	土工 発生土埋戻工(管上10cm～30cm) 投入機種 0.45B.H	土工 発生土埋戻工(管上10cm～30cm) 投入機種 0.80B.H	土工 埋戻工 発生土 0.28B.H	土工 埋戻工 発生土 0.45B.H	土工 埋戻工 発生土 0.80B.H	土工 埋戻工 砕石 0.28B.H	土工 埋戻工 砕石 0.45B.H	土工 埋戻工 砕石 0.80B.H	土工 残土処分工 積込機種 0.28B.H	土工 残土処分工 積込機種 0.45B.H	土工 残土処分工 積込機種 0.80B.H	備考
No.	No.	No.	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m2	m2	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	
473-3	473-3-1	+3.40m	3.40		3.40	0.95	2.49	2.77	2.63	6.8		別紙付帯工に計上				8.4			1.2						0.6			4.9			1.5			2.3			県道歩道
473-3	+3.40m	472-2-1	0.90		0.90	0.95	2.49	2.77	2.63	1.8		補助分にて計上				2.2			0.3			0.2									1.6			2.2			県道車道
473-1	473-1-1	+12.0m	12.00	0.53	11.47	0.95	2.67	2.67	2.67	24.0		11.4		0.5		30.0			4.1						2.2			19.0						6.4			町道
合計	変更																																				
	当初		16.30	0.53	15.77					32.6		11.4		0.5		40.6			5.6			0.2			2.8			23.9			3.1			10.9			

（管渠数量調書）　令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事（1工区）町単独分

内径 200 ㎜下水道用硬質塩化ビニール管

路線番号	人孔番号 上流	人孔番号 下流	管渠本数 路線延長	管渠本数 人孔内の減長	管渠本数 管渠延長	管渠本数 塩化ビニール管	管渠本数 可撓継手 上流	管渠本数 可撓継手 下流	管渠本数 可撓支管及び支管取付工継手	建込み簡易土留工 シングルレール H=1.5m 延長	H=1.5m H×L	H=2.0m 延長	H=2.0m H×L	H=2.5m 延長	H=2.5m H×L	H=3.0m 延長	H=3.0m H×L	H=3.5m 延長	H=3.5m H×L	H=4.0m 延長	H=4.0m H×L	H=4.5m 延長	H=4.5m H×L	H=5.0m 延長	H=5.0m H×L	ダブルレール H=5.5m 延長	H=5.5m H×L	H=6.0m 延長	H=6.0m H×L	備考
No.	No.	No.	m	m	m	本	箇所	箇所	個	m	㎥	m	㎥	m	㎥	m	㎥	m	㎥	m	㎥	m	㎥	m	㎥	m	㎥	m	㎥	（平均）
473-3	473-3-1	+3.40m	3.40	0.34	3.06	0.77										3.40	8.94													(2.63)
473-3	+3.40m	472-2-1	0.90		0.90	0.23										0.90	2.37													(2.63)
473-1	473-1-1	+12.0m	12.00	0.45	11.55	2.89	1									12.00	32.04													(2.67)
合計	変更																													
	当初		16.30	0.79	15.51	3.89	1									16.30	2.66 43.35													

（舗装数量調書）　令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事（1工区）町単独分

路線番号	人孔番号 上流	人孔番号 下流	路線延長	掘削溝幅	影響幅	路面復旧影響幅	町道インターロッキング舗装 表層工 インターロッキングブロック t=8cm	町道インターロッキング舗装 表層工 砂 t=2cm	町道インターロッキング舗装 上層路盤工 CR40－0 t=10cm	町道インターロッキング舗装 下層路盤工 CR40－0 t=25cm	町道インターロッキング舗装 路盤工 0.45B.H RC40－0 t=35cm	町道インターロッキング舗装 路盤工 0.80B.H RC40－0 t=35cm	町道部 表層工 再生密粒 As20F t=4cm	町道部 路面補修工 M25－0 t=10cm	町道部 上層路盤工 M25－0 t=10cm	町道部 上層路盤工 造成道路 M25－0 t=15cm	町道部 下層路盤工 RC40－0 t=25cm	町道部 砂利道 0.80B.H RC40－0 t=35cm	県道歩道復旧 表層工 再生細粒 As13F t=3cm	県道歩道復旧 上層路盤工 M25－0 t=15cm	県道歩道復旧 下層路盤工 RC40－0 t=47cm	県道歩道復旧 路盤工 0.45B.H RC40－0 t=25cm	県道歩道復旧 路盤工 0.80B.H RC40－0 t=25cm	県道車道仮復旧 表層工 粗粒度 As20 t=5cm	県道車道仮復旧 上層路盤工 M40－0 t=15cm	県道車道仮復旧 下層路盤工 RC40－0 t=47cm	県道車道仮復旧 路盤工 0.80B.H RC40－0 t=25cm	県道車道仮復旧 撤去復旧工 インターロッキング t=8cm	舗装切断工 アスファルト t＜20cm	AS舗装版取壊し工 AS舗装 t=10cm 迄	AS舗装版取壊し工 AS舗装 t=15cm 迄	As殻処分工 AS舗装 t=10cm 迄	As殻処分工 AS舗装 t=15cm 迄	備考
No.	No.	No.	m	m	m	m	㎡	㎡	㎡	㎡	m3	m3	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	m3	㎡	㎡	㎡	m3	m3	㎡	㎡	㎡	m3	㎡	m	㎡	㎡	m3	m3	
473-3	473-3-1	+3.40m	3.40	0.95		0.95													別紙付帯工に計上														県道歩道
473-3	+3.40m	472-2-1	0.90	0.95		0.95																		別紙付帯工に計上									県道車道
473-1	473-1-1	+12.0m	12.00	0.95	1.45	2.40							28.8		11.4		11.4													17.4		0.7		町道
合計	変更																																
	当初		16.30										28.8		11.4		11.4													17.4		0.7		

建て込み簡易土留め工

（ L= 3.00 m ）　　（ 軽量型 ）

1） 設 計 条 件

1．管　径　200 mm　2．管　種　塩ビ管　3．施工延長　16.30 m

4．掘削方法　BH-0.28　5．掘削幅　0.95 m　6．掘削深　2.66 m

7．土　質　（粘性土・レキ混じり土）　8．締切延長　16.30 m

9．トラッククレーン規格　4.9 t 吊り

日数算出根拠　16.30m当り

2）施工時間

1．掘削時間の算定（D1）=（ L×W×H ）÷ Q （歩掛P15）

（D1）=（ 2.66 － 1.00）m × 0.95 m × 16.30 m ÷ 59.00 m3/日 =　0.44 日 ①

2．建込み簡易土留建込み時間の算定（D2）　（歩掛P38）

（D2）=（ 0.27 ÷ 10.00 m ）× 16.30 m =　0.44 日 ②

掘削工合計日数　①＋②　0.88 日

3．基　礎　工（D3）　（歩掛Ⅰ-11-①-17）

基礎土量 =（ 0.95 m × 0.416 m － 0.037 ㎡）× 16.30 m =　5.84 m^3

（D3）= 5.84 m3 / 36.0 m3/日 =　0.16 日 ③

4．管布設工（D4）（ 管　種：塩ビ管 ）　（歩掛P93）

（D4）= 16.30 × 0.022 人/m/日 =　0.36 日 ④

5．引抜き埋戻し工（D5）（ 機 械 転 圧 部 分 ）（歩掛P18）

埋戻し土量= 16.30 m ×（2.66 m － 1.416 m）× 0.95 m =　19.26 m^3

（D5）= 19.26 m3 ÷ 36.00 m3/日 =　0.54 日 ⑤

工　程　表

工種 ＼ 日数	5　10	日数
掘削及び建込み工	0.88	0.88
基　礎　工	0.80 0.96	0.16
管 布 設 工	0.88 1.24	0.36
引抜き及び埋戻し工	0.88 1.42	0.54
水 替 え 工		0.52

損 料 日 数 計= 16.30 m÷ 16.30 m× 1.44日= 1.44日×1.3= 1.87
≒ 1.0 日

水 替 日 数 計= 16.30 m÷ 16.30 m× 日= 日

全 体 日 数= 16.30 m÷ 16.30 m× 日

１，建込簡易土留工損料算定表

矢板長(m)	(A),	2.00 m	2.50 m	3.00 m	3.50 m	4.00 m	4.50 m	5.00 m	5.50 m	6.00 m	合　　計
最大掘削深(m)	(B),	m	m	3.12 m	m	m	m	m	m	m	
締切延長(m)	(C),	m	m	16.30 m	m	m	m	m	m	m	
１回締切延長(m)	(D),	m	m	16.30 m	m	m	m	m	m	m	
対象面積（㎡）	(E), (A)×(D)×2	㎡	㎡	97.8 ㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	97.8 ㎡
損料日数（日）	(F), 別紙工程表参照	日	日	1.0 日	日	日	日	日	日	日	1 日
損料（㎡日）	(G), (E)×(F)	㎡日	㎡日	97.8 ㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	97.8 ㎡日

２，運　搬　工　算　定　表

運搬する矢板長	2.0 m	2.5 m	3.0 m	3.5 m	4.0 m	4.5 m	5.0 m	5.5 m	6.0 m
1セット(30m)当たり重量	t	t	18.4 t	t	t	t	t	t	t
セット枚数	ｾｯﾄ	ｾｯﾄ	0.54 ｾｯﾄ	ｾｯﾄ	ｾｯﾄ	ｾｯﾄ	ｾｯﾄ	ｾｯﾄ	ｾｯﾄ
各矢板毎の重量									
運搬重量	t	t	9.9 t	t	t	t	t	t	t

積込積下重量（運搬総重量）	
建込簡易土留工	9.9 t
使用運搬車両	
12 t 車	台
2 t 割り増し	台

（人孔数量調書）　令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事（1工区）町単独分

1号組立マンホール数量表　本管内径　200 ㎜下水道用硬質塩化ビニール管

路線番号	人孔番号	人孔深さ	組立高さ	マンホール				副管		マンホール材料																											備考
											躯体ブロック							直壁ブロック								斜壁			調整リング			調整モルタル工		蓋		削孔			
				現況地盤高	流入管底高さ	流出管底高さ	落差	副管径	直管長	底版	60 cm	90 cm	120 cm	150 cm	180 cm	210 cm	240 cm	30 cm	60 cm	90 cm	120 cm	150 cm	180 cm	210 cm	240 cm	30 cm	45 cm	60 cm	5 cm	10 cm	15 cm	20 mm	40 mm	11cm T-14	11cm T-25	100 mm	200 mm	200 mm	
No.	No.	m	m	m	m	m	m	㎜	m	個	個							個								個			個			箇所		枚		箇所			
473-1	473-1-1	2.56	2.62	746.52		743.961				1					1													1		2		1		1				底部工
小計	変更																																					
	当初									1					1													1		2		1		1				
合計	変更																																					
	当初									1					1													1		2		1		1				

塩ビ製小口径マンホール

路　　線 No.	マンホール No.	マンホール 深　さ	立管控除長	所用立管長	流入・流出 落　差	落差調整管 所用長	平面角度	管勾配 上流 (‰)	管勾配 下流 (‰)
473-3	473-3-1	2.38	0.57	1.81			90	20	40
Σ	1			1.81					

塩ビ製小口径マンホール

路線	マンホール	インバート φ200 ― 300																														マンホール立管												V型自在継手	落差調整管	90°曲管	蓋・保護鉄蓋・沈下防止板					その他材料・備考				
					（曲り）															（合流）						（特殊）																														
No.	No.	起点	ｽﾄﾚｰﾄﾄﾞﾛｯﾌﾟ		15L		30L		45L		60L		75L		90L		45Y		60Y		90Y		45			立管φ300×						自在受口立管φ300×						20SR-V	φ150×1.0m	90ST	保護鉄蓋	沈下防止板	内蓋	塩ビ製蓋		異径ソケット	ゴム輪受口	受口プラグ		
					右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	WL			0.6	0.9	1.2	1.5	2.0	2.5	0.6	0.9	1.2	1.5	2.0	2.5	φ150		φ150												
473-3	473-3-1														1															1												1	1	1			1				
Σ															1															1												1	1	1			1				

（汚水桝及び取付管工集計表　国道部）

令和4年度　社会資本整備総合交付金事業　特環公共下水道管渠埋設工事（1工区）町単独分

名　　称	規格寸法	計　算　式	数　量	名　　称	規格寸法	計算式	数　量
鉄蓋（内蓋共）	重車用	取付管数量調書より	組	掘　削　工	油圧式0.20m3級B.H	3.38×1	3.4 m^3
鉄蓋（内蓋共）	軽車用	取付管数量調書より	組	砂基礎工	洗砂(投入機種0.20B.H)	0.61×1	0.6 m^3
標　準　蓋		取付管数量調書より	1 個	発生土埋戻工 管頂10cm～30cm	洗砂(投入機種0.20B.H)	0.35×1	0.4 m^3
汚水桝（三方向流入タイプ）	横型φ200-150×100	取付管数量調書より	1 個	埋　戻　工	再生砕石 RC40-0	0.37×1	0.4 m^3
汚水桝（三方向流入タイプ）	縦型φ200-150×100	取付管数量調書より	個	埋　戻　工	良質土		m^3
ゴム製可撓支管	SRVφ200mm×φ150mm(90°)	取付管数量調書より	個	埋　戻　工	発生土	2.01×1	2.0 m^3
支管取付工	φ200mm×150mm	取付管数量調書より	箇所	残土処分工	一般土砂	0.76×1	0.8 m^3
自在曲管	SRφ150mm×0°～60°	取付管数量調書より	個	As舗装切断工	t=30cm		m
曲　　管	SRφ150mm×90°(ST)	取付管数量調書より	個	舗装版取壊工	アスファルト		m^3
可撓継手	φ150mm用	取付管数量調書より	組	As殻処分工	t=15cm迄		m^3
プレーンエンド直管	φ150mm　L=4m		m	路面補修工	CR25-0 t=10cm		㎡
プレーンエンド直管	φ200mm　L=4m	1.59	1.59 m	表　層　工	国道アスファルト舗装 t=5cm		㎡
取付管布設工	φ150mm	2.31×1+0	2.31 m	上層路盤工	m25-0 t=10cm		㎡
取付管用片受け直管	φ150mm　L=4m	(2.31×1+0)／4	0.58 本	下層路盤工	CR40-0 t=25cm		㎡
				路　盤　工	CR40-0 t=4cm		m^3
				取　付　管 土　留　工	簡易土留 H=2.00	2.35×1	2.4 m

（取付管１箇所当たり数量計算調書　国道部）

令和４年度　社会資本整備総合交付金事業　特環公共下水道管渠埋設工事（１工区）町単独分

取付管数量調書より

官地部平均掘削延長L	1.35m
平均水路幅W1	
本管平均掘削幅B/2	0.48m
本管平均掘削深H	2.66m
平均汚水桝深H1	1.80m
取付管勾配i	20‰
宅地部平均掘削延長L7	1.00m
本管平均土被りh	
取付管延長L4 $\sqrt{(H3^2+L3^2)}$	√(0.544^2+2.25^2)=2.31m
桝土工本管側掘削深H4 H2+L5×i	1.90+1.77×20‰=1.94m
桝土工平均掘削深H5 (H2+H4)/2	(1.90+1.94)/2=1.92m

種　別	計　算　式	計　　算	数　量
掘削工	(B4＋B9)/2×(H5−H6)×L1 +(B4＋B3)/2×H5×(L7+0.1)	(0.900+0.900)/2×(1.92−0.03)×0.87+(0.900+0.900)/2×1.92×(1.00+0.1)	3.38 m^3
砂基礎工	{(B4+B5)/2×H12 −取付管断面積}×L6	{(0.900+0.900)/2×0.365−0.021}×1.97	0.61 m^3
発生土埋戻工　管頂10cm～30cm	{(B5+B6)/2×H10}×L6	{(0.900+0.900)/2×0.20}×1.97	0.35 m^3
砕石埋戻工	(B6+B7)/2×H8×L1	(0.900+0.900)/2×0.47×0.87	0.37 m^3
良質土埋戻工			m^3
発生土埋戻工	(B6+B7)/2×H9×L1 (B6+B3)/2×H11×(L7+0.1)	{(0.900+0.900)/2×0.855}×0.87+(0.900+0.900)/2×1.355×(1.00+0.1)	2.01 m^3
残土処分工	掘削工−発生土埋戻工/0.9	3.38−(0.35+2.01)/0.9	0.76 m^3
As舗装切断工		本管部に計上済	m
アスファルト舗装版取壊工		本管部に計上済	㎡
As殻処分工		本管部に計上済	m^3
路面補修工			㎡
表層工		本管部に計上済	㎡
上層路盤工			㎡
下層路盤工			㎡
路盤工			m^3
取付管 土留工	簡易土留 H=2.00	1.35 ＋ 1.00	m 2.35

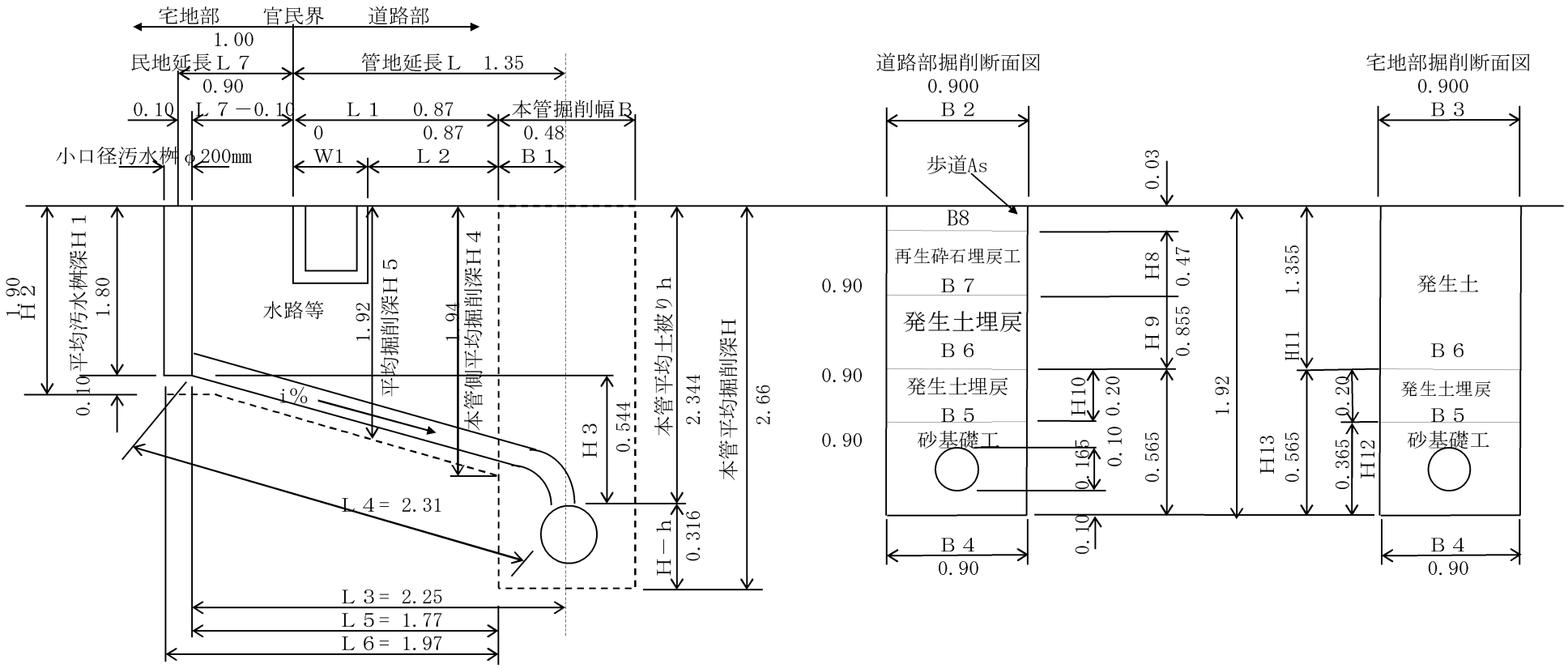
（取付管数量調書　国道部）

令和4年度　社会資本整備総合交付金事業　特環公共下水道管渠埋設工事（1工区）町単独分

路線番号	人孔番号 下流	人孔番号 上流	所有者名	官地延長	民地延長	水路等の減長	本管掘削幅の1/2	取付位置	鉄蓋内蓋共（重車）	鉄蓋内蓋共（軽車）	標準蓋 φ200	汚水桝 横型	汚水桝 縦型	プレーンエンド直管 φ200	桝の深さ	有効桝深	可撓支管 φ150	自在曲管 φ150	ST曲管 φ150	可撓継手 φ150	備考
No.	No.	No.		m	m	m	m		組	組	個	個	個	m	m	m	個	本	本	組	
473-3	473-3-1	473-4-1	浦野	1.35	1.00		0.48	左			1	1		1.59	1.80	1.80					
合計	変更																				
	当初		1箇所	1.35 1.35	1.00 1.00		0.48 0.48				1	1		1.59	1.80 1.80	1.80 1.80					

取付管数量算出標準断面図

（ 県道 歩道As舗装 ）



建て込み簡易土留め工 取付管用

（ L= 2.00 m ）　　（ 軽量型 ）

1） 設 計 条 件

1．管　径　150 mm　2．管　種　塩ビ管　3．施工延長　2.40 m

4．掘削方法　BH-0.28　5．掘削幅　0.90 m　6．掘削深　1.94 m

7．土　質　（粘性土・レキ混じり土）　8．締切延長　2.40 m

9．トラッククレーン規格　4.9 t 吊り

日数算出根拠　2.40m当り

2）施工時間

1．掘削時間の算定（D1）=（ L×W×H ）÷ Q （歩掛P15）

（D1）=（ 1.94 － 1.00）m × 0.90 m × 2.40 m ÷ 59.00 m3/日 =　0.03 日 ①

2．建込み簡易土留建込み時間の算定（D2）　（歩掛P33）

（D2）=（ 0.18 ÷ 10.00 m ）× 2.40 m =　0.04 日 ②

掘削工合計日数　①+②　0.07 日

3． 基 礎 工（D3）　（歩掛Ⅰ-11-①-17）

基礎土量 =（ 0.90 m × 0.365 m － 0.021 ㎡）× 2.40 m =　0.74 m^3

（D3）= 0.74 m3 / 36.0 m3/日 =　0.02 日 ③

4．管布設工（D4）（ 管　種：塩ビ管 ）　（歩掛P93）

（D4）= 2.40 × 0.021 人/m/日 =　0.05 日 ④

5．引抜き埋戻し工（D5）（ 機 械 転 圧 部 分 ）（歩掛Ⅰ-11-①-17）

埋戻し土量= 2.40 m ×（1.94 m － 1.365 m）× 0.90 m =　1.24 m^3

（D5）= 1.24 m3 ÷ 36.00 m3/日 =　0.03 日 ⑤

工　程　表

工種 ＼ 日数	5　10	日数
掘削及び建込み工	0.07	0.07
基　礎　工	0.06 0.08	0.02
管 布 設 工	0.07 0.12	0.05
引抜き及び埋戻し工	0.07 0.10	0.03
水 替 え 工		0.07

損 料 日 数 計= 2.40 m÷ 2.40 m× 0.12日=　0.12日×1.3=　0.16

≒　0.16 日

水 替 日 数 計= 2.40 m÷ 2.40 m×　日=　日

全 体 日 数= 2.40 m÷ 2.40 m×　日

１，建込簡易土留工損料算定表　（取付管用）

矢板長(m)	(A),	2.00 m	2.50 m	3.00 m	3.50 m	4.00 m	4.50 m	5.00 m	5.50 m	6.00 m	合　　計
最大掘削深(m)	(B),	1.94 m	m	m	m	m	m	m	m	m	
締切延長(m)	(C),	2.40 m	m	m	m	m	m	m	m	m	
１回締切延長(m)	(D),	2.40 m	m	m	m	m	m	m	m	m	
対象面積（㎡）	(E), (A)×(D)×2	9.6 ㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	9.6 ㎡
損料日数（日）	(F), 別紙工程表参照	0.16 日	日	日	日	日	日	日	日	日	0.16 日
損料（㎡日）	(G), (E)×(F)	1.536 ㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	1.536 ㎡日

２，運　搬　工　算　定　表

運搬する矢板長	2.0 m	2.5 m	3.0 m	3.5 m	4.0 m	4.5 m	5.0 m	5.5 m	6.0 m
1セット(30m)当たり重量	12.0 t	t	t	t	t	t	t	t	t
セット枚数	0.08 ｾｯﾄ	ｾｯﾄ	ｾｯﾄ	ｾｯﾄ	ｾｯﾄ	ｾｯﾄ	ｾｯﾄ	ｾｯﾄ	ｾｯﾄ
各矢板毎の重量									
運搬重量	1 t	t	t	t	t	t	t	t	t

積込積下重量（運搬総重量）	
建込簡易土留工	1.0　t
使用運搬車両	
12　t 車	台
2 t 割り増し	台

名　称	計　算　式		数　量	
	付帯工			
1. 舗装切断工 t=3cm	1-1）As舗装切断 図面より	2.6 ＝	2.6	m
2. 県道歩道As 復旧工	2-1）舗装取壊し工 図面より	8.7 ＝	8.7	㎡
	2-2）As殻処分工 8.7 × 0.03m ＝ 0.3	0.3 ＝	0.3	m3
	2-3）舗装復旧工 図面より	8.6 ＝	8.6	㎡
	2-4）不陸整正 図面より	5.5 ＝	4.7	㎡